

方面	方面隊創立65周年記念行事	(1面)
1師団	師団重迫撃砲射撃競技会	(3面)
12旅団	各地で練成訓練	(4面)
1施設団	団戦技競技会	(5面)
関東補処	処業務計画1次指示	(5面)



令和7年3月25日 第1082号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙

発行所：方面総監部広報室
住所：東京都練馬区大泉学園町
専用線：8-37-2446

方面隊65周年盛大に挙行

方面隊は2月23日及び24日、朝霞駐屯地等において、協力者等からの信頼の醸成及び隊員の使命自覚と士気の高揚を図り、防衛基盤の充実強化に資することを目的とし、方面隊創立65周年記念行事を挙行了。

23日は優秀隊員招待行事、方面音楽まつり、歴代総監会同を、24日は総監感謝状贈呈式、祝賀会食を実施した。
優秀隊員表彰式は部外施設において行われ、永年の職務遂行における功績が顕著であった隊員18人（隊員家族16人）を招待して、その功績を称え表彰した。その後、優秀隊員及びその家族は、和光市民文化センターサンアゼリアで行われた方面音楽まつりの演奏を楽しんだ（2面参照）。
歴代総監会同では総監が歴代の総監に対し、方面隊の現況を伝えるとともに、さまざまな意見を聴取して今後の方面隊の施策の資を得た。



祝賀会食



総監感謝状贈呈式



優秀隊員表彰式

東校会の共催により祝賀会食が実施された。多数の招待者等が参加し、会談は盛況裏に終了した。

動画の部



令和6年度 喜界島における自由降下訓練
Military Freefall in Kikajima
最優秀賞「生地に咲く落下傘の花」
習志野駐屯地(第1空挺団) 長野 2曹



優秀賞「Reason to fighting」
第1通信大隊 吉原 2曹



優秀賞「教育隊班長として～繋げる想い～」
第32普通科連隊 木村 2曹



特選「令和6年度中隊等訓練検閲」
第34普通科連隊 勝間田 2曹

写真の部



最優秀賞「降下!」
習志野駐屯地(第1空挺団) 神 2曹



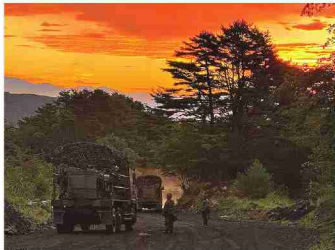
優秀賞「炎」
滝ヶ原駐屯地(普通科教導連隊) 生稻 3曹



優秀賞「スノーラッシュ!」
第32普通科連隊 金井 1曹



特選「打ち上げ式太陽」
第13普通科連隊 箱山 3曹



優秀賞「暁の前進」
第1特殊武器防護隊 鈴木 1曹



特選「轟音」
第30普通科連隊 谷口 2曹



特選「その時を待つ」
習志野駐屯地(第1空挺団) 下茂 1曹

方面隊 写真・動画コンテスト



写真の部 最優秀賞 習志野駐屯地 神 2曹

方面隊は広報担当者の撮影技術を確認するとともに、隊員の意欲の増進を図り、撮影技術を上させることを目的として、令和6年度東部方面隊写真・動画コンテストを実施した。
コンテストは東方管内に所在する隊員を対象として、令和6年1月から10月の間に撮影された作品の応募により行われ、写真の部では「方面隊で活躍する部隊・隊員の活躍写真」をテーマに114作品の中から7作品が、また動画の部では「陸自隊員、それぞれの最前線!」をテーマに12作品の中から4作品が部外審査員による審査でそれぞれ選出された。2月3日には総監部に
おいて表彰式が実施され、総監から受賞者に表彰状と副賞が授与された。
総監は「部内外にかかわらず、発信力というのは極めて重要な戦力であり、皆が頑張ることが部隊の精強化に繋がる。今後も練度向上に努めて多くの場で発信してもらいたい」と述べ、受賞者の功績を称えた。

方面隊訓練検閲

シ通群・航空隊が受閲

訓練成果を評価判定

方面隊は2月3日から6日までの間、東部方面管内駐屯地、東富士演習場（市街地訓練場）等において、東部方面シシステム通信群及び東部方面航空隊に対し、令和6年度方面隊訓練検閲を実施した。



システム通信組織の構成



ヘリボン作戦



有線構成



映像伝送装置の載せ替え作業

本訓練検閲は作戦遂行能力の向上を図ることを目的として、重要影響事態から武力攻撃事態の作戦推移における防衛警備上の任務に基づく部隊の行動について検閲し、教育訓練の成果を評価・判定するものである。

訓練検閲に当たり統裁官（幕僚副長（防衛））は、受閲部隊に対して「任務の実効性向上に創意を尽くせ」「作戦上の要求や部隊等ニーズに基づき、各々の専門識能を最大限発揮せよ」「管理の徹底」の3点を要望し、主要検閲項目を「指揮幕僚活動」「部隊の基本的行動」及び「隊員の基礎動作」の3項目とした。

シ通群は東方面管内において師団等と連携した基地及び野外のシシステム通信組織の構成・維持・運営及び航空隊と連携した映像写真業務を実施した。

航空隊は東方面管内において警戒・監視に係る航空偵察、師団の協同部隊と連携したヘリボン及びヘリコプター火力に係る戦闘・戦闘支援を実施した。

両部隊は部隊長を核心として、これまで練成してきた成果を発揮するとともに、敵情・地形・気象を克服し、与えられた任務を完遂して本訓練検閲の状況を終了した。

方面隊は本検閲の成果を今後の教育訓練に反映させ、部隊の更なる精進化を図っていく。



会場一体となり盛り上がったフィナーレ



迫力ある太鼓演奏



美しい歌声の杉並児童合唱団



第1 後方支援連隊による野外入浴セットの展示



第32普通科連隊による人命救助システムの展示

2025 令和6年度東部方面音楽まつり
Eastern Army Music Festival

GENERATIONS SYNERGY
～心をつなぐ音楽の力、未来への一歩～

方面隊は2月23日、和光市民文化センターサリアセリアにおいて、令和6年度東部方面音楽まつりを実施した。

今回は「GENERATIONS SYNERGY」心をつなぐ音楽の力、未来への一歩」をテーマとして行われ、東部方面音楽隊、第1音楽隊、第12音楽隊、東部方面自衛太鼓（朝霞振武太鼓、松本アルプス太鼓、北富士天王太鼓及び滝ヶ原雲海太鼓）が参加した。

会場となったサリアセリアの野外広場では、会場前に自衛太鼓が迫力ある太鼓演奏を披露するとともに、人命救助システム、炊事車、野外入浴セットの装備品展示のほか、迷彩服の体験試着が行われ、来場者は開場前のひと時を楽しんでいた。

開場するとステージ上において開演前のユーフォニアム、テューバセクションによるウェルカムコンサートが行われ、開演後は音楽隊、太鼓隊、ゲストの杉並児童合唱団の演奏と来場者が一緒に、音楽まつりを盛り上げた。

特に盛り上がりを見せたのは、第2章で演奏された東音の打楽器奏者陣内3曹作曲・演出の「サウンス・オブ・ネイチャー&ヘッズミュージック」であった。生活をしていると聞こえる些細な音から風が奏でる自然の音、さまざまな音を駆使し独特の世界観で来場者を楽しませた。当日は2回の公演が行われ、合計約2000人の来場者が訪れた。来場者からは「とても感動した。涙が出た」「楽しい時間を過ごすことができた」等の感想が聞かれた。

第1師団

銀嶺富士で熱い砲撃

師団重迫撃砲射撃競技会



銀嶺富士に火を噴く重迫撃砲

師団は1月19日から25日までの間、北富士演習場において師団隷下の第1普通科連隊、第32普通科連隊、第34普通科連隊及び東部方面混成団の第31普通科連隊の4コ連隊による重迫撃砲射撃競技会を実施した。

降雪の中で行われた開会式において統裁官（師団長）は「射撃練度の向上を促すとともに、部隊の士気の高揚及び団結を強化せよ。この際、射撃時の安全管理を徹底し、事故を未然に防止せよ」と訓示した。また要望事項として「師団固有かつ最大の火力戦闘部隊としての戦闘力を発揮せよ」「相互信頼し、全ての努力を弾先（たまさき）に集中させよ」最後に「世界一の安全管理」の3点を述べ「一人一人が安全係」という意識をもって射撃競技会に臨み、各連隊ともにこれまでの訓練成果を遺憾なく発揮し、本競技会の目的を達成することを目指す」と安全管理

故を未然に防止せよ」と訓示した。また要望事項として「師団固有かつ最大の火力戦闘部隊としての戦闘力を発揮せよ」「相互信頼し、全ての努力を弾先（たまさき）に集中させよ」最後に「世界一の安全管理」の3点を述べ「一人一人が安全係」という意識をもって射撃競技会に臨み、各連隊ともにこれまでの訓練成果を遺憾なく発揮し、本競技会の目的を達成することを目指す」と安全管理

の安全管理」の3点を述べ「一人一人が安全係」という意識をもって射撃競技会に臨み、各連隊ともにこれまでの訓練成果を遺憾なく発揮し、本競技会の目的を達成することを目指す」と安全管理

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

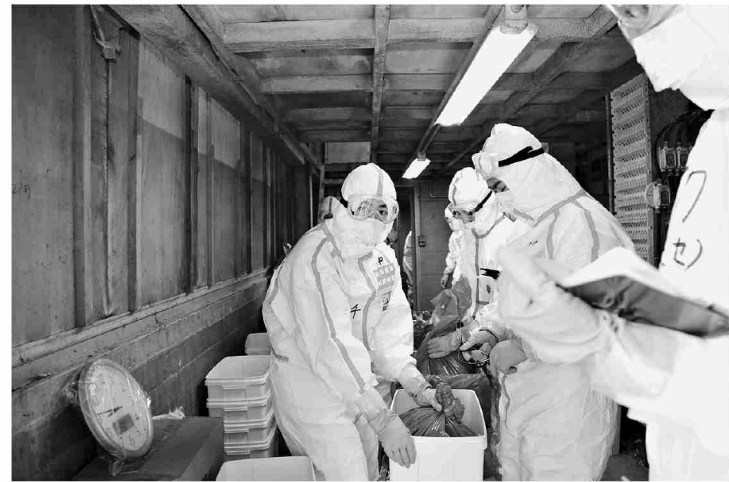
見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

鳥インフルエンザに係る災害派遣

過酷な環境下で任務完遂



固い握手を交わす師団長と千葉県知事



連携して活動する隊員

を強く意識させ本競技会が開幕した。各連隊の評価は非常に僅差であったが、32普通科連隊がコロナ禍により開催されなかった期間も含めて平成30年以降の優勝を手にし、安全管理を徹底した本競技会是一件の事故もなく無事に終了した。最後に統裁官は「重迫撃砲中隊が師団固有かつ最大の火力戦闘部隊としての誇りを堅持し、切磋琢磨しつつ相互に連携を強化せよ」と講評を締めくくった。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。

見事に優勝した32普通科連隊の伊澤3曹は「6年越しに連隊に再び顕彰板を迎えることができ素直に嬉しい。今後も自らの知識・技能を高め、後輩達を成長させ、王者に恥じない中隊にしたい」と意気込みを語った。



降雪の中で訓示を述べる師団長



確実に弾種を点検し、しっかりと手渡す



感極まる32普連重迫中隊長

32普連 6年越し悲願の優勝



6年越しの優勝に満面の笑みを浮かべる32普連重迫中隊



後ろから襲い掛かる敵に機敏に対処

格闘き章への道のり
指導官を目指し己を磨く

師団は1月8日から3月7日までの間、板妻・駒門駐屯地及び東富士演習場市街地訓練場において、師団格闘集合訓練（養成）を実施した。本訓練は第34普通科連隊長を担任官として師団隷下部隊、需品学校、東方特科連隊及び警務隊から格闘検定の特級保有者が参加した。訓練実施に当たり、安全組織の確立及び明確な任務付与、訓練予行等を綿密に実施し、不測事態に対処及び傷病者発生時における救護要請の万全を図った。

主要演練項目の「格闘理論」「格闘訓練」特に安全管理を含む「格闘訓練管理」を習得するため、訓練参加者は上級及び部隊格闘指導官から知識や技術を自ら進んで確認して、部隊格闘指導官に必要な資質を涵養するとともに、あらゆる格闘技術を駆使し、任務を遂行できるように格闘技能の向上を図った。

部隊格闘指導官の資格を付与された18人は、各部隊に戻った後に本訓練で習得した技術・知識をもって、後輩の育成に励むとともに、格闘を通して部隊の精強化に貢献していく。



師団の活動状況・イベント情報発信しています

新隊員教育が修了

～仲間と共に歩んだ3ヶ月～



還返旗隊教育 撮影記念と家族で姿した成長

施設団は12月1日から3月1日までの約3カ月間、古河駐屯地において、一般曹候補生課程「施設」及び新隊員特技課程「施設」教育を実施した。

担任官（第101施設器材隊長）の要望事項「方面施設としての誇りの堅持、技術の錬磨」「絆を大切に」の下、新隊員特有の若さと、爽やかさを武器に施設科隊員としての知識及び技術を習得するとともに、同期の絆を深め無事に教育を修了した。

本教育は施設科隊員としての基本的知識・技能を習得させることを目的とし、団隷下部隊（在古河駐屯地部隊）より選抜された教官・助教要員を主体に教育隊を編成した。教育を終えた隊員からは「古河で受けられて良かった」「施設科を希望して良かった」等の言葉を聞くことができた。今後も仲間として、良きライバルとして、互いに切磋琢磨しつつ各部隊で活躍することを期待する。



補給倉庫の基礎工事
(型枠設置の様子)

なく発揮した。
特殊器材中隊
は特有の装備及
び技術を駆使し、
所命任務を完遂
した。

特殊器材中隊検閲を実施

第101施設器材隊は2月14日から17日までの間、古河・宇都宮駐屯地及び朝日分屯地において、特殊器材中隊訓練検閲を実施した。

特殊器材小隊により油圧シヨベル等の施設器材を駆使した応急道路を構築するとともに、建設技術小隊はコンクリート打設のための型枠設置工事

第一線救護競技会

古河・用賀支処から参加



がそれぞれ加した。	科隊員が、翌24日には諸職種の隊員がそれぞれ心肺蘇生法と第一線救護の課目に対し、日ごろの練成の成果を十分に発揮して、その技能の練度を競い合った。競技会を
終えた工藤3曹は「競技会に向け、時間を見つけて練成を重ねました。今回この競技会に参加できて本当に良かったです。負傷者を発見した時、大量の情報の中から優先順位を決め適切に処置することが出来る冷静な状況判断や指揮能力が重要だと実感しました。平素からの練成も身近な人が負傷した時を想像するなど、緊張感を持って練成し、いざという時のために練度を高く維持したい」と力強く語ってくれた。	

関東処は1月23日から
 24日の間、朝霞駐屯地で
 行われた令和6年度方面
 戦傷治療集合訓練（方面
 第一線救護競技会）に参
 加した。

本競技会は戦傷治療の
 実効性向上を図ることを
 目的に行われ、関東処か
 らは衛生科の部に用賀支
 処の宮崎3曹と秦土長
 が、諸職種の部には昨年
 行われた選考会で優勝し
 た古河支処から、工藤3

曹と森本士長がそれぞれ代表として参加した。

23日に衛生科隊員が、

終えた工藤3曹は「競技会に向け、時間を見つけて練成を重ねました。今

用賀工



第1施設団銃剣道競技会



団銃剣道競技会 優勝部隊・隊員の紹介									
【部隊対抗の部（施設群及び器材隊）】									
優勝 第5施設群									
（出場選手）									
1 田川 士長	8 渡部 2曹	2 小川 士長	9 橘 3曹	3 石崎 士長	10 森山 2曹	4 木ノ内 士長	11 渡邊 2曹	5 丸山 曹長	12 岡崎 3曹
6 吉満 3曹	13 池田 3尉	7 大塚 3曹							
【部隊対抗の部（施設隊）・ダンブ中隊及び団本部】									
優勝 第307施設隊									
（出場選手）									
1 伊藤 士長	5 倉持 1曹	2 篠原 士長	6 小林 3曹	3 染島 1曹	7 増川 1尉	4 篠崎 3曹			

施設団は2月28日、古河駐屯地において、令和6年度団戦技競技会（銃剣道）を実施した。競技会は団体戦のみ実施し、各部隊の代表選手が部隊の誇りと名譽をかけ、気迫溢れる試合を展開し熱戦を繰り広げた。

団戦技競技会参加選手と応援者全隊員は、各部隊選手の勝敗に関係なく隊員一人一人の活躍に心から声援を送っていた。競技会終了後、参加選手は「来年こそ優勝したい」「来年はさらに成長した自分を披露したい」等次回への意気込みを語っていた。また本競技会に招待した団ＯＢ会、防衛・駐屯地モニター及び在日米陸軍工兵隊は、会場において気迫あふれる隊員の雄姿を観戦した。

本競技会を通じて団隷下各部隊は、これまでの練成の成果を十分に発揮するとともに、部隊の団結の強化及び士気の高揚を図ることができた。

第1施設団

団戦技競技会を実施

部隊の誇りをかけて

關東補給処

処業務計画1次指示

方針と企図の徹底を図る



処長による訓示

方針等について示し、処長企図の徹底を図った。処長は「次指示に当たり、
「能登半島地震に伴う災害派遣をはじめ、派遣海賊対処行動支援隊支援など多岐に渡る各種支援の対応など国内外の活動基盤を支える任務を遂行する全隊員に感謝する」とねぎらうとともに、「令和7年度は防衛力整備計画の3年目の年度に当たり関東補給処の任務を遂行する上で極めて重要な年度である」と強調した。その上で、「兵站の実効性は、作戦運用の実効性そのものである。陸上自

倉庫等を研修

じ後の処務運営に資する

本研修は倉庫の設備、技術等を研修・確認することで、以後の処務運営に資することを目的として行われた。

1月20日に日本通運DPLを研修した処長は概要説明を受けた後、施設研修として倉庫を

隊舞鶴造修補給所を訪れ、令和8年運用開始予定である最新機材とシステムを導入した「スマート倉庫」を研修した。

関東処は両研修内容を処内で共有し、今後の検討の資とした。



処長による研修



用賀支処長による研

航空隊

UH-2が新規導入
愛称は「ハヤブサ」



テープカット



航空隊長式辞

航空隊は2月28日、立川駐屯地において、UH-2紹介行事を行った。行事には総監、幕僚副長（防衛）、司令懇話会会長、協力団体会長、SUBARU関係者及びモニタリー等が臨席し、セレモニー（祝辞、テープカット、実機展示・説明、写真撮影）を行った。航空隊長は式辞で招待者に感謝の言葉を述べた後、「UH-2新多用途ヘリコプターは操縦性・安全性を飛躍的に向上させており、航空隊は同機を用いて今後も航空安全を確保し、各種任務に効果的に対応して参ります」と決意を述べた。

総監は「航空隊の諸官においては、引き続き航空安全を確保しつつ、航空操縦士及び航空整備員の養成・練度向上を推進せよ」とまた「政経中核を含む1都10県にわたる東部方面隊区を、このハヤブサが威風堂々と大きく羽ばたき、航空隊長佐藤1佐を核として、新たな伝統を築き上げていくことを祈念する」と訓示した。

航空隊は部隊・隊員の更なる練度向上を図りつつ、UH-2の戦力化に努め、新たな伝統を築くべく任務に邁進していく。

2 高群

首都防空の実効性向上
方面対空情報戦闘訓練



PSAM追従訓練

第2高射特科群は2月4日から5日までの間、航空自衛隊百里基地、松戸、相馬原及び駒門駐屯地において、方面対空情報戦闘訓練を実施した。本訓練はCCC（対空戦闘装置）を中核とする対空戦闘組織を構成し、航空自衛隊の実機及びシミュレータによる訓練を実施し、各師・旅団高射特科部隊及び携帯SAM保有部隊の対空戦闘能力を向上させることを目的で実施した。

訓練担当の谷1尉は「2高群、第1高射特科大隊及び第12高射特科隊との協同訓練により、高射特科部隊の対空戦闘に係る練度の向上を図るとともに、方面特科連隊に對して、ADCCS（対空戦闘指揮統制装置）情報を送信し、実機に対する訓練により、PSAMの追従・射撃操作練度を向上させるなど、実りある訓練を行うことができた」と話した。

訓練所感

東部方面システム通信群 第105指揮所通信大隊 3等陸曹 木曾 幸希



指揮所通信中隊

東部方面システム通信群は2月3日から6日までの間、訓練検閲を受閲しました。私は主指揮所合同通信小隊構成組長として朝霞駐屯地において演習総監部への電話回線及び各システム通信回線の構成・維持・運営を主たる任務として行動しました。3日の深夜、システム通信組織構成完了時刻が遅延する可能性があると小隊長から聞かされ、しばらくすると中隊長から「現地に引き、野外展開用電話交換機の設定・基地通信との接続状況を確認し、各種技術支援を実施せよ」との命令が下りました。私のやるべきことは3つあると考えました。1つは目的地に無事故で到着し、支援完了後にも無事故で帰隊すること。2つ目は野外展開用電話交換機の設定状況を確認し、構成完了時間までにシステム通信組織に加入させる。3つ目は基地通信中隊の隊員と連携し基地器材設定の確認・有線及びLANケーブルの確認を実施することの3つでした。

現地向かう中で私は、野外用電話交換機の基本的な事項から点検・確認をすることで通信回線の不具合が解消できると確信していました。組員には有線及びLANケーブルの接続の確認を指示し、予備の有線及びLANケーブルを準備しました。野外電話交換機の設定を確認していた私は、現地移動時に考えていたとおりの設定誤りを発見し設定を変更しました。システム通信組織は無事に時間内に構成完了し現場の部隊からも感謝の言葉をもらいました。私は陸曹になったばかりの時は構成完了時間に間に合わず悔しい思いをし、先輩からの指導と後輩達の頑張りのおかげで無事でしたが、失敗を糧に日々の特技練成や訓練前の回線図・電話番号表・各通信器材の設定要領及び各システムの構成・延伸等を何度も確認、練成して自己を向上させた結果が、中隊長等からの信頼に繋がることができたと思っております。

通信復旧の際、ユーザから「ありがとう、助かった」との言葉で、システム通信科隊員として頑張ってきた良かったと思うとともに、「ユーザ意識」の大切さを実感できた方面隊訓練検閲でした。

東混団

即応予備自衛官の存在を示す
方面狙撃競技会に参加



即自ペア



常即混成ペア

3月3日・4日の両日に実施された令和6年度方面狙撃競技会において、連隊内の選手選考を勝ち抜いた即応予備自衛官4人が参加し、そのうち3人が選手として出場した。降雨と酷暑の厳しい天候の中、高い集中力を発揮して射撃に臨み、一発に魂を込める狙撃手として常備と共に戦う、即応予備自衛官の存在を示すことができた。

参加した選手は「射撃結果としては実力を十分に発揮できなかったが、難易度の高い得点の目標を積極的に狙い、『果敢に挑戦する気概は常備に負けない』気持ちでチャレンジすることができた。次は、さらに練成して勝利をつかみたい」と頼もしく語り、早くも次の競技会への熱意を燃やしていた。

狙撃手と観測手を即応予備自衛官で編成した狙撃組が、常備に負けない成果を発揮して勝利をつかみ取る日は、そう遠くない未来かもしれない。

特科連隊

中隊のプライドかけ
各種競技会を実施



実射競技会



炊事競技会



武道競技会（銃剣道）

特科連隊は連隊戦力化の総仕上げとして、1月13日から16日の間に実射競技会、2月13日に炊事競技会及び2月25日から28日の間に武道競技会を、中隊対抗形式により東富士演習場、北富士駐屯地及び宇都宮駐屯地に実施した。

各競技会は「中隊の射撃能力の向上」及び「災害派遣下における野外炊事能力の向上」及び「戦闘員として必要な闘争心及び勝利に対する執念の滋養、また全ての競技を通じて「部隊団結の強化」を目的として実施した。

各中隊は統裁官要望事項である「目標を共有し、組織力を発揮せよ」「本競技会を通じて、部隊の伝統確立の資とせよ」「管理の万全を具現化して、確立した目標に向け総力を結集し、計画的かつ段階的に積み上げてきた練成成果を遺憾なく発揮した。加えて各選手は緊張感が漂う中、自らの限界に挑戦し、中隊の威信をかけ、競技に挑んだ。

連隊は方面隊唯一の特科部隊として、引き続き火力戦闘能力の向上を図るとともに、災害等各種事態にも対処すべく、日々練成に励む所存である。

【実射競技会】

- 第1大隊第1中隊
- 【炊事競技会】
- 野外炊具1号の部
- 情報中隊
- 野外炊具2号の部
- 第2大隊第5中隊
- 【武道競技会】
- 総合
- 第2大隊第4中隊
- 銃剣道の部

団体戦

- 第2大隊第4中隊
- 個人戦
- 幹部・准尉の部
- 本部中隊 平井1尉
- 陸曹の部
- 第1大隊第6中隊 鈴木2曹
- 陸士の部
- 第1大隊第3中隊 西村士長
- 陸士（1任期未満の部）
- 第2大隊第4中隊 佐野士長

女性自衛官の部

- 第1大隊本部警備中隊 大井3曹
- 拳法の部
- 73kg以下の部
- 第1大隊本部警備中隊 渡邊2曹
- 81kg以下の部
- 第1大隊本部警備中隊 栗田1曹
- 81kg以上の部
- 第1大隊第1中隊 渡邊3曹
- 女性自衛官の部
- 第2大隊第5中隊 檜橋3尉

静岡地本

大学生が災害派遣を学ぶ 防災行政論に講師として参加

自衛隊静岡地方協力本部は2月4日、常葉大学草薙キャンパス(静岡市)で行われた講義「防災行政論」に講師として参加した。

これは社会環境学部の2～4年生121人が自衛隊の活動や災害対応などを学ぶものであり、まず静岡地本本部長田代1陸佐が自衛隊の任務や

次に板妻駐屯地の第34普通科連隊長が登壇し、静岡県内を担任する同連隊の活動や災害派遣の仕組み、熱海市の土砂災害や令和4年の台風被害など実際にあった活動について説明した。



装備品(車両)展示

また、大学内の駐車場に移動して、災害派遣活動の写真パネルや軽装甲機動車、高機動車の見学を行った。学生は車両の上部座席に座って記念撮影をしたり、自衛官から直接話を聞いた。自衛隊に親しんでいる。その後、静岡地本募集課長と募集班長が、それぞれ航空自衛隊と海上自衛隊の任務や災害派遣活動を紹介した。陸海空の特性とそれを生かした活動内容や学んだ学生からは「海上や航空の装備品も見てみたい」「災害救助犬について知りたい」といった意欲的な声が寄せられた。

新潟地本

東音楽奏会を支援 自衛隊に対する理解促進

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

当日は長岡出張所及び高田地域事務所の募集ブースが設けられ、アンケ

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

当日は長岡出張所及び高田地域事務所の募集ブースが設けられ、アンケ

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

自衛隊新潟地方協力本部は2月2日、長岡市立劇場にて行われた長岡市自衛隊協力会主催の東部方面音楽隊による音楽演奏会を支援した。

茨城地本

小学4年生対象の 防災教育に協力

自衛隊茨城地方協力本部は2月18日、水戸市いっせい防災訓練に合わせ、自衛隊の役割や災害派遣時の活動内容が紹介された。その後、2個グループ

自衛隊茨城地方協力本部は2月18日、水戸市いっせい防災訓練に合わせ、自衛隊の役割や災害派遣時の活動内容が紹介された。その後、2個グループ

自衛隊茨城地方協力本部は2月18日、水戸市いっせい防災訓練に合わせ、自衛隊の役割や災害派遣時の活動内容が紹介された。その後、2個グループ

自衛隊茨城地方協力本部は2月18日、水戸市いっせい防災訓練に合わせ、自衛隊の役割や災害派遣時の活動内容が紹介された。その後、2個グループ

自衛隊茨城地方協力本部は2月18日、水戸市いっせい防災訓練に合わせ、自衛隊の役割や災害派遣時の活動内容が紹介された。その後、2個グループ

群馬地本

予備自衛官補の試験に 夫婦でチャレンジ ～息子は高等工科学校へ進学～

並木 枝里子



予備自衛官補の試験に合格して、令和6年に夫婦で予備自衛官補となりました。

予備自衛官補の試験に合格して、令和6年に夫婦で予備自衛官補となりました。

予備自衛官補の試験に合格して、令和6年に夫婦で予備自衛官補となりました。

予備自衛官補の試験に合格して、令和6年に夫婦で予備自衛官補となりました。

神奈川地本

輝く未来へ！ 公安系合同職業ガイダンス

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所は2月15日、川崎市消防局講堂において公安系公務員の話が聞けるチャンスと銘打って、海上保安庁、神奈川県警察、川崎市消防署と自衛隊の4業種合同による職業ガイダンスを行った。

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所は2月15日、川崎市消防局講堂において公安系公務員の話が聞けるチャンスと銘打って、海上保安庁、神奈川県警察、川崎市消防署と自衛隊の4業種合同による職業ガイダンスを行った。

ある！ある！自衛隊



演奏の合間に行った自衛官募集のお知らせ

音域を担当し、幅広い音楽ジャンルで使用する木管楽器のアルトサクソフォーンをフィナーレとして、自衛隊の音楽隊が演奏した。演奏終了後、自衛隊の音楽隊が演奏した。演奏終了後、自衛隊の音楽隊が演奏した。



装備品(炊事車)展示

茨城地本は生活支援という部分で仕事を紹介できた。今後も防災教育に協力し、防災意識の高揚を図っていく。



活発な質疑応答が行われた自衛隊ブース

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所は2月15日、川崎市消防局講堂において公安系公務員の話が聞けるチャンスと銘打って、海上保安庁、神奈川県警察、川崎市消防署と自衛隊の4業種合同による職業ガイダンスを行った。

最先任
上級曹長「アサーション
プロだから」
第1飛行隊

北本 賢一 陸曹長

「アサーション プロだから」この言葉は、飛行隊長の航空安全指針になります。皆さん「アサーション」と言う言葉を知っていますか？
初めて私がこの言葉を聞いた時「えっあざしよん……」と、どうしようもない想像をしたことを覚えています。「アサーション」とは、性別・年齢・階級等に関係なく相手を尊重しながら自分の

意見を主張するコミュニケーション手法になります。簡単に言いますと、

「相手が上司・先輩・後輩・誰だろうが、傷つけずに言いたいことを言

う」という意味になります。とても大事なことで私は思います。25年



前、私が3曹になった時の頃、私は先輩に物言いなど恐ろしく「先輩の言うことは絶対」だと思っていました。ある日、航空機の機外にスピーカーを取付け作業があり、取付け方が良く分からなかった私は先輩にお願いして取付を手伝ってもらいました。途中で「あれ、取付けが違うぞ、でもお願いしてるし……どうしよう」と先輩に言いたいことが言えませんでした。作業の様子を見に来た別の先輩が異常に気付いて大事には至らなかった。

たのですが、あの時の頃、私は先輩に物言いなど恐ろしく「先輩の言うことは絶対」だと思っていました。ある日、航空機の機外にスピーカーを取付け作業があり、取付け方が良く分からなかった私は先輩にお願いして取付を手伝ってもらいました。途中で「あれ、取付けが違うぞ、でもお願いしてるし……どうしよう」と先輩に言いたいことが言えませんでした。作業の様子を見に来た別の先輩が異常に気付いて大事には至らなかった。

オピニオン
一言申し上げる
東方オピニオンリーダー会
塩川 豊

私は松本駐屯地で駐屯地モニター、防衛モニターを経て東方オピニオンリーダーとなり、本年度で任期の4年を終了致します。
私的な都合により、途中で数年間自衛隊の皆様と関わりを持たない時期もありましたが、一般の方々と比べると、自衛隊の活動を近くで、そして長く、深く拝見させてもらっています。
就任当初はコロナ禍の影響で研修も行われなかったこともあり、寂しい時期もありました。令和4年度より広報担当の皆様には積極的に内容の深い研修を立案実施していただき、都合の許す限り参加し、研修に参加すること

で、少しではあります。自衛隊の活動の表裏の顔の一面に触れ、国民の福祉の第一は平和で安心して生活できることであり、表裏の両面から支えたいと思っています。
「日の目を見ない活動」としては、災害救援活動が多く、私の身近な体験



とすれば、御嶽山噴火による避難者の救援活動、台風19号による千曲川堤防決壊による救援活動がありました。このように多くのマスコミに取り上げられる事例は別として、自衛隊の本来の活動である国防に関しては人目に触れないことが多く、利用されないことを願いながら、モクモクと訓練に励んでいる自衛官のモチベーションは、どの様に保っているのか、一人一人の隊員のほか、部隊を預かる諸氏の皆さんの心持ちにいつも頭が下がる思いであります。

「日々挑戦」
東部方面後方支援隊
新田 紗都 2等陸曹

今月のフェアレディは、東部方面後方支援隊第301高射直接支援中隊に所属する新田2曹です。岩手県出身の28歳で文書陸曹として勤務しています。

Q 普段行っている業務とその業務の魅力は？
文書陸曹及び部隊格闘指導官として職務に従事しています。文書陸曹は難しいことが多いですが、行政文書を適正に管理することにやりがいを感じます。また格闘指導官としては、部隊を精進

にするため間稽古等を通して格闘技術を向上させています。日々の練成の積み重ねにより、目に見えて隊員の技術が身についていくのを感じたとき、とても喜びを感じました。

Q 今後の自衛隊人生でチャレンジしたいことは？
スキーにチャレンジしたいです。幼少期に雪国で育ったので寒冷地の訓練にも慣れていないので、スキーにチャレンジしたいです。幼少期に雪国で育ったので寒冷地の訓練にも慣れていないので、スキーにチャレンジしたいです。

Q 入隊の動機は？
叔父が航空自衛官で、カッコいい存在でした。その叔父の働き姿に憧れていたのと、地元が習志野演習場に近く普段から落下傘降下を見るのが多かったため陸上自衛隊への入隊を決意しました。

Q 普通科を希望した理由は？
地元に近い習志野の空挺団を希望していましたが、卒の関係で行けませんでした。いつかは空挺団勤務を目指すことを考えたので、心身を鍛えられる普通科連隊を選びました。

Q 休日の過ごし方は？
ジムでウェイトトレーニングを行い、体力向上に努めています。

Q ヴィジラントアイルに努めています。

Q 今後チャレンジしたいことは？
昨年、上司・同僚らの応援・支援のおかげで、レンジャー教育を修了することができました。

Q 編集後記
皆さんは自衛官として勤務している中でONとOFFの切り替えが難しいと思ったことはないでしょうか？今回は、私の経験談とその時のスイッチの切り替え方についてご紹介したいと思います。

今月のフェアレディは、東部方面後方支援隊第301高射直接支援中隊に所属する新田2曹です。岩手県出身の28歳で文書陸曹として勤務しています。



Q 普段行っている業務とその業務の魅力は？
文書陸曹及び部隊格闘指導官として職務に従事しています。文書陸曹は難しいことが多いですが、行政文書を適正に管理することにやりがいを感じます。また格闘指導官としては、部隊を精進

Q 今後の自衛隊人生でチャレンジしたいことは？
スキーにチャレンジしたいです。幼少期に雪国で育ったので寒冷地の訓練にも慣れていないので、スキーにチャレンジしたいです。幼少期に雪国で育ったので寒冷地の訓練にも慣れていないので、スキーにチャレンジしたいです。

Q 入隊の動機は？
叔父が航空自衛官で、カッコいい存在でした。その叔父の働き姿に憧れていたのと、地元が習志野演習場に近く普段から落下傘降下を見るのが多かったため陸上自衛隊への入隊を決意しました。

Q 普通科を希望した理由は？
地元に近い習志野の空挺団を希望していましたが、卒の関係で行けませんでした。いつかは空挺団勤務を目指すことを考えたので、心身を鍛えられる普通科連隊を選びました。

Q 休日の過ごし方は？
ジムでウェイトトレーニングを行い、体力向上に努めています。

Q ヴィジラントアイルに努めています。

Q 編集後記
皆さんは自衛官として勤務している中でONとOFFの切り替えが難しいと思ったことはないでしょうか？今回は、私の経験談とその時のスイッチの切り替え方についてご紹介したいと思います。



今月の東方男児は第13普通科連隊第1中隊に所属する鍛原3曹です。千葉県市川市出身、機関銃

Q 今後の自衛隊人生でチャレンジしたいことは？
スキーにチャレンジしたいです。幼少期に雪国で育ったので寒冷地の訓練にも慣れていないので、スキーにチャレンジしたいです。幼少期に雪国で育ったので寒冷地の訓練にも慣れていないので、スキーにチャレンジしたいです。

Q 編集後記
皆さんは自衛官として勤務している中でONとOFFの切り替えが難しいと思ったことはないでしょうか？今回は、私の経験談とその時のスイッチの切り替え方についてご紹介したいと思います。